

阿知和地区工業団地造成事業特別会計(予算額 910,241千円) 阿知和地区工業団地関連道路整備業務(予算額 146,493千円)		総合政策部地域創生課 政策推進係(23 - 7214)
財源内訳	阿知和地区工業団地造成事業特別会計 使用料及び手数料 6千円、財産収入 1千円、繰入金 407,233千円、繰越金 1千円、市債 503,000千円 阿知和地区工業団地関連道路整備業務: 国庫支出金 23,200千円、市債 68,000千円、一般財源 55,293千円	
支出内訳	阿知和地区工業団地造成事業特別会計 1款1項1目 一般管理費 / 食糧費 38千円、2款1項1目 工業団地造成費 / 登記用図面作成委託料 2,931千円、埋蔵文化財調査委託料 58,875千円、契約等支援委託料 15,125千円、造成事業委託料 140,672千円、造成事業工事請負費 371,556千円、水道工事負担金 4,497千円、3款1項1目 元金 / 市債償還元金 314,125千円、3款1項2目 利子 / 市債償還金利子 1,922千円、4款1項1目 予備費 / 予備費 500千円、阿知和地区工業団地関連道路整備業務: 8款3項3目 道路新設改良費 / 消耗品費 20千円、架線保全手数料 220千円、設計単価調査委託料 1,100千円、測量設計委託料 28,050千円、土地賃借料 1,200千円、道路新設改良工事請負費 89,650千円、土地購入費 20,503千円、電柱移設補償金 5,750千円	

阿知和地区工業団地造成事業特別会計

概要

- ・ 位置 : 東阿知和町、西阿知和町及び真福寺町地内
- ・ 面積 : 約66ha
- ・ 分譲面積 : 約32ha

企業の工業団地需要に応えるため、スマートインターチェンジ事業と一体となって整備します。

令和4年度は、PFI事業と埋蔵文化財発掘調査を進めます。

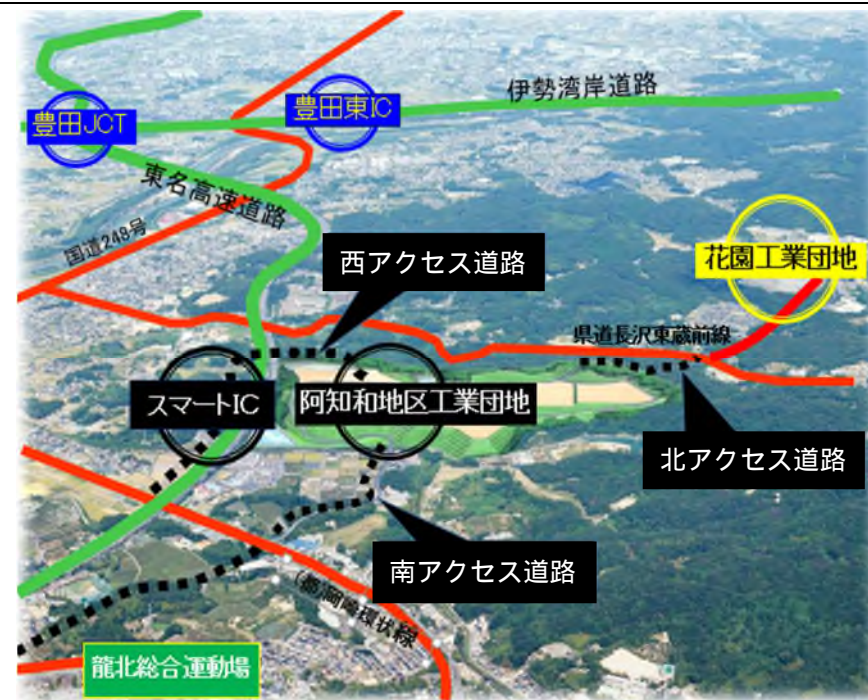
阿知和地区工業団地関連道路整備業務

概要

- ・ 北アクセス : 工業団地から真福寺町牛落交差点まで
- ・ 南アクセス : 工業団地から都市計画道路岡崎環状線を経て真伝町総合グランド西交差点まで

阿知和地区工業団地へのアクセス道路を整備することで、地域で課題となっている通勤時間帯の渋滞緩和を図ります。

令和4年度は、北アクセス道路と南アクセス道路の整備を進めます。



街路・道路新設改良事業 (予算額 770,785千円) 矢作川右岸南北道路整備業務始め8業務合算 (令和3年度3月補正に前倒した予算額 148,338千円) (合計予算額 919,123千円)		土木建設部道路建設課 総務係 (23-6442)
財源内訳	国庫支出金 134,822千円、県支出金 17,500千円、諸収入 16,000千円、市債 314,000千円、一般財源 288,463千円	
支出内訳	8款3項3目 道路新設改良費 / 特別旅費 42千円、土地鑑定手数料 807千円、架線保全手数料 525千円、測量設計委託料 15,670千円、登記事務委託料 1,500千円、道路用地管理委託料 3,020千円、道路整備計画調査委託料 3,300千円、設計単価調査委託料 1,100千円、道路新設改良工事請負費 295,900千円、道路新設関連工事請負費 5,000千円、土地購入費 124,469千円、電柱等移転補償金 8,200千円、事業損失補償金 400千円 8款5項3目 街路事業費 / 特別旅費 67千円、土地鑑定手数料 1,019千円、架線保全手数料 460千円、測量設計委託料 10,400千円、街路改良工事委託料 177,460千円、登記事務委託料 500千円、道路用地等管理委託料 7,914千円、土地賃借料 130千円、街路改良工事請負費 99,000千円、道路用地等維持修繕工事請負費 10,450千円、土地購入費 952千円、電柱等移転補償金 2,500千円	

都市計画道路、主要市道等の新設及び改良工事を行います。

事業予定箇所

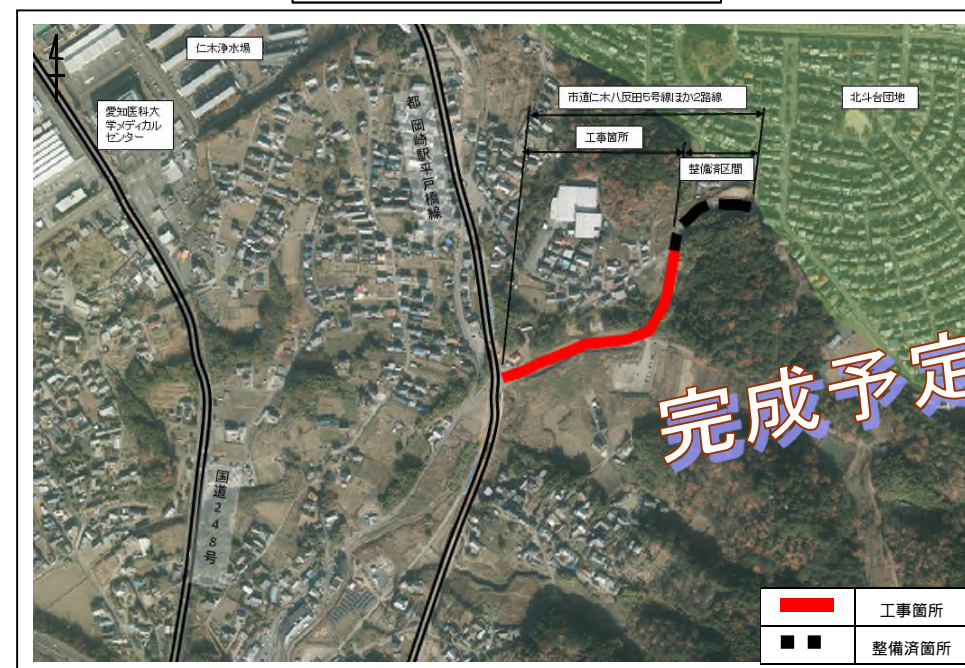
街路新設改良事業

- ・ 岡崎環状線
- ・ 若松線

道路新設改良事業

- ・ 矢作川右岸南北道路
- ・ 針崎ポンプ場線 (完成予定)
- ・ 仁木八反田5号線ほか2路線 (完成予定)
- ・ 東奥洞七ツ池線

仁木八反田5号線ほか2路線




岩津地域活動拠点施設関連道路整備業務(予算額 314,744千円)		市民安全部市民協働推進課 施設管理係(23 - 6661)
財源内訳	国庫支出金 10,000千円、市債 103,000千円、一般財源 201,744千円	
支出内訳	8款3項3目 道路新設改良費 / 埋蔵文化財発掘調査委託料 129,470千円、道路新設改良工事請負費 143,000千円、建物等移転補償金 11,000千円、電柱移設補償金 4,269千円、水道管移設補償金 16,005千円、ガス管移設補償金 11,000千円	

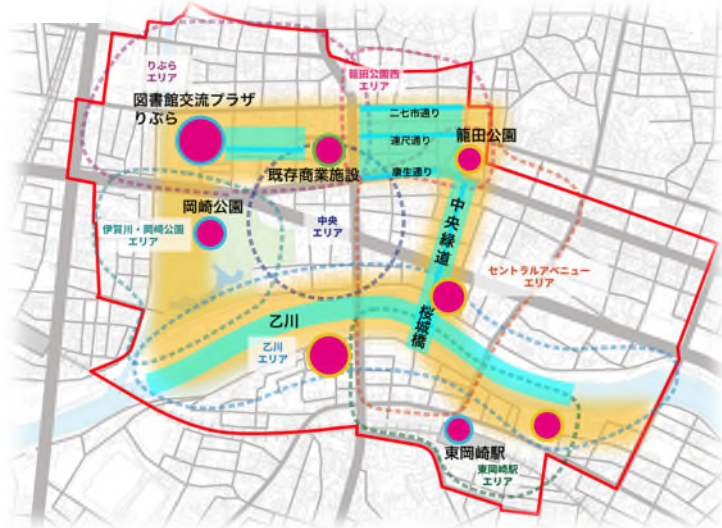
地域交流センター（市民活動）、市民センター（生涯学習）、支所（行政手続き、地域支援）の機能を併せ持つ複合拠点施設の整備に向け、施設利用に係る円滑な交通及び安全を確保するため、交差点改良等関連道路の整備を進めます。



QRUWA戦略推進業務 (予算額 117,632千円)		都市政策部都市施設課 QRUWA戦略係 (23 - 7421)
財源内訳	国庫支出金 11,049千円、一般財源 106,583千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / 委員報酬 1,050千円、費用弁償 719千円、特別旅費 875千円、消耗品費 190千円、食糧費 23千円、印刷製本費 237千円、工作物修繕料 2,708千円、通信運搬費 546千円、かわまちづくり企画支援委託料 5,995千円、まちづくりデザイン策定委託料 73,326千円、情報化基盤施設整備等委託料 8,281千円、機器等運用保守委託料 14,422千円、会場使用料 109千円、木船借上料 300千円、職員研修負担金 30千円、かわまちづくり活用実行委員会負担金 3,000千円、電気使用料負担金 108千円、全国川サミット実行委員会負担金 5,000千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 713千円	

QRUWAエリア内にある豊富な公共空間を活用した公民連携プロジェクトを推進することにより、まちの回遊を実現させ、その波及効果として市民の暮らしの質の向上とエリアの価値向上に取り組みます。整備が完了した籠田公園、中央緑道等の公共空間がさらに生かされるよう、主に企業をターゲットとした民間投資誘導、乙川かわまちづくり事業の推進支援、公民連携まちづくりの情報発信、シンポジウム等による啓発を実施します。

 QURUWA 戦略 (拠点・拠点間動線)



民間投資誘導
企業版リノベーションスクール開催支援

かわまちづくり
“自然”と“都市”が交わる暮らし

■乙川エリアの目指す姿

- ①個性のある多様なゾーンのつながり
- ②日々の生活力によって湧き、力が溢れる空間
- ③地元と周辺空間の一体的な活用
- ④新たな担い手による文化の醸成

乙川エリアビジョン更新支援

QRUWA 情報発信
新 QURUWA ウェブ

まちづくりデザイン

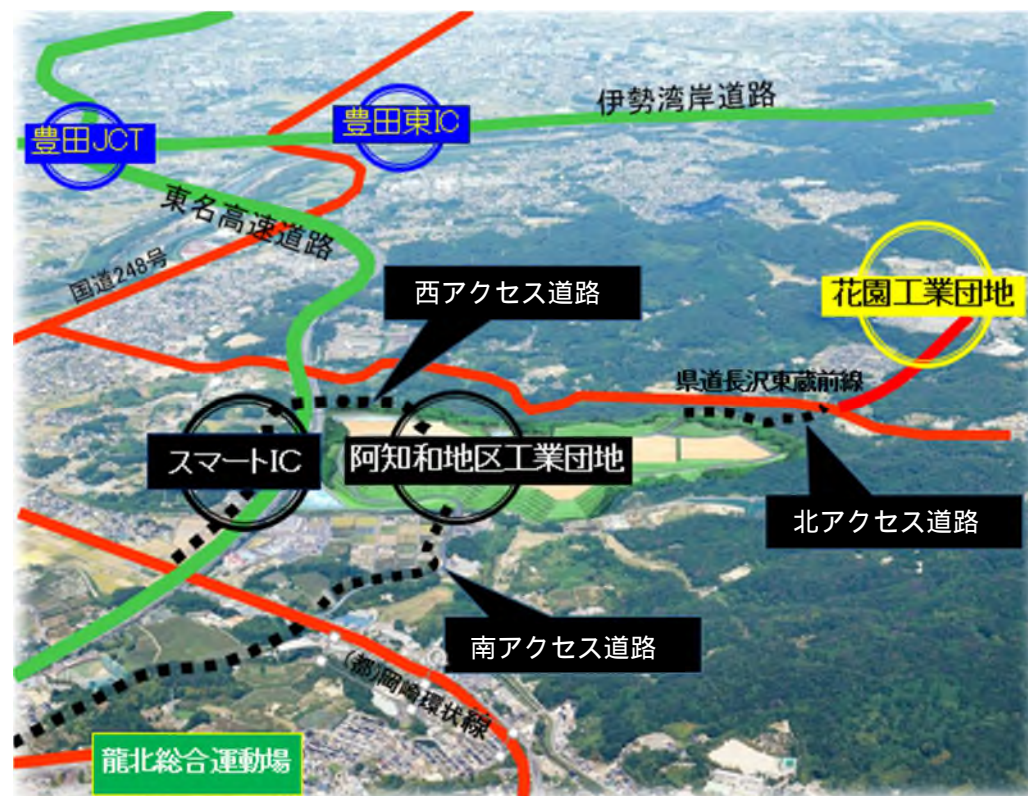
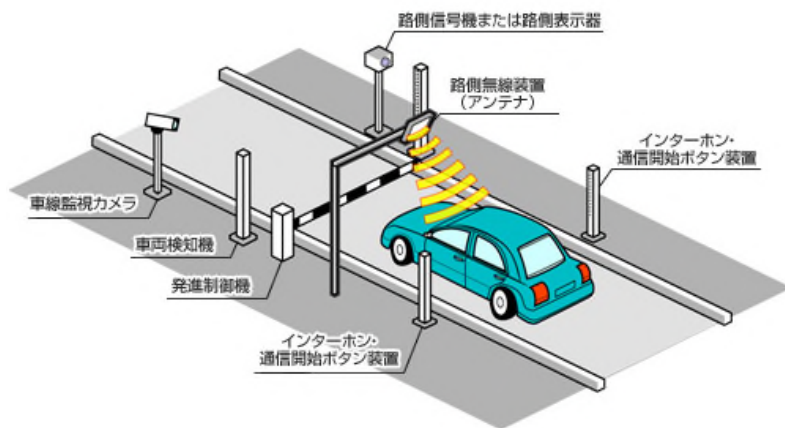
QRUWA シンポジウム
オンライン配信

スマートインターチェンジ整備業務 (予算額 522,859千円)		総合政策部地域創生課 技術係 (23 - 6565)
財源内訳	国庫支出金 100,000千円、市債 192,000千円、一般財源 230,859千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / 消耗品費 213千円、食糧費 52千円、土地鑑定手数料 220千円、測量設計委託料 40,557千円、登記事務委託料 2,467千円、調査検討委託料 4,950千円、道路整備工事請負費 334,400千円、電柱等移転補償金 140,000千円	

高速道路へのアクセス及び物流の効率化による生産性向上のため、(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジを阿知和地区工業団地の計画と合わせ整備します。また、岡崎サービスエリアへのスマートインターチェンジ整備効果について調査を進めます。

令和4年度予算内容

- ・ 道路築造工事
- ・ 周辺道路予備設計
- ・ 橋梁補強設計
- ・ 道路詳細設計
- ・ 岡崎サービスエリアスマートインターチェンジ整備効果検討 等



東岡崎駅周辺地区整備推進業務 (予算額 288,573千円)

都市基盤部拠点整備課
総務企画係 (23 - 6452)

(令和3年度3月補正に前倒した予算額 45,980千円) (合計予算額 334,553千円)

財源内訳	国庫支出金 25,920千円、県支出金 11,610千円、繰入金 80,000千円、一般財源 171,043千円
支出内訳	8款5項5目 拠点整備費 / 委員報酬 38千円、費用弁償 42千円、特別旅費 120千円、消耗品費 30千円、食糧費 27千円、架線保全手数料 241千円、登記用図面作成委託料 627千円、周辺整備調査設計委託料 19,947千円、東岡崎駅立体横断施設検討委託料 2,937千円、東岡崎駅南口空間検討委託料 3,454千円、東岡崎駅周辺街区道路空間検討委託料 5,071千円、設計単価調査委託料 473千円、会場使用料 37千円、水道分担金 1,265千円、交通施設等調査設計費負担金 101,864千円、市街地再開発事業費補助金 57,600千円、建物等移転補償金 94,800千円

本市の玄関口である東岡崎駅周辺地区を「誰もが使いやすい にぎわいの交流拠点」となるよう整備します。

名鉄との基本協定に基づき、橋上駅舎、自由通路、駅ビル、バスターミナル等の一体整備(第2期整備)の着工に向けた調査設計等を進めます。

令和4年度の主な内容

- ・昨年度に引き続き橋上駅舎整備費の検討に必要な線路の詳細設計や既設の高架構造物の照査等を行います。
- ・市街地再開発事業として駅ビル、バスバースについての基本設計等を行います。
- ・自由通路の築造にあたり支障となる地下改札前の店舗等に対する移転補償を行います。



名古屋鉄道提供

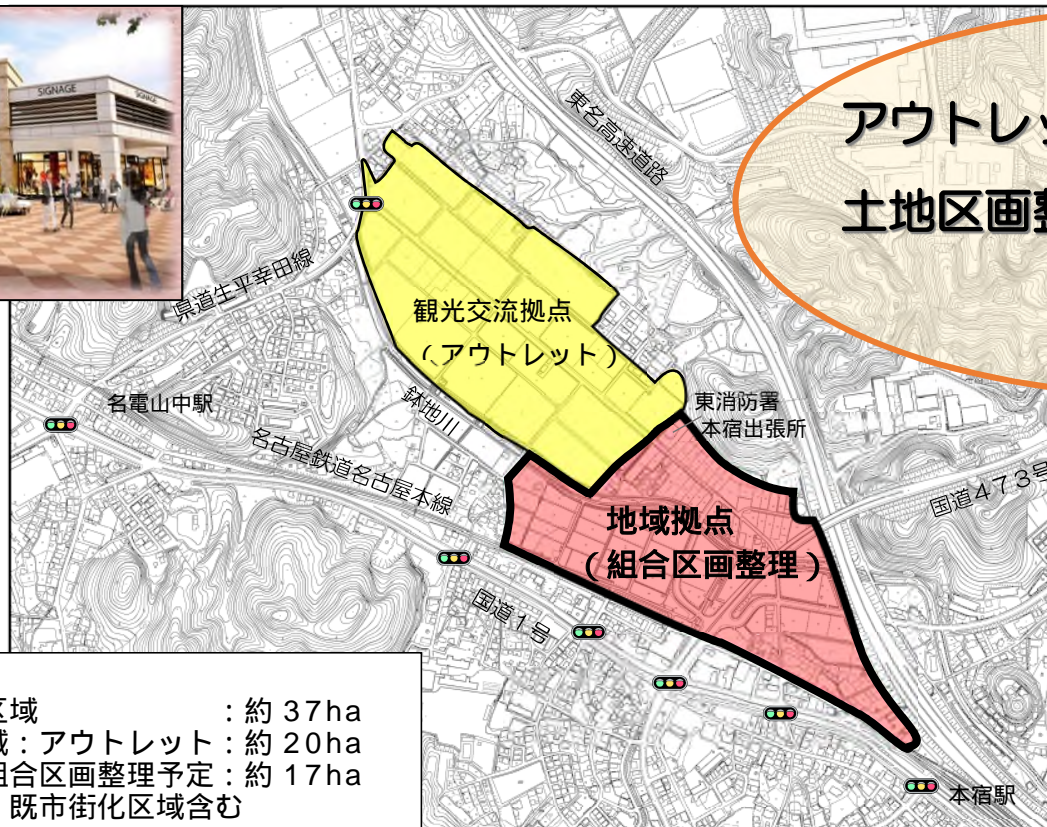
(仮) 本宿駅西土地区画整理組合設立準備業務 (予算額 20,702千円)

都市基盤部市街地整備課
組合支援係 (23 - 6166)

財源内訳 一般財源20,702千円

支出内訳 8款71項2目 土地区画整理組合指導費 / 区画整理事業設計委託料 17,402千円、環境保全対策委託料 3,300千円

都市計画マスタープランにて東部地域の地域拠点として位置付けた本宿地区において、既存ストックである優れた交通結節機能を有効に活用し、隣接する広域観光交流拠点におけるアウトレット事業と同調・連携し、民間活力を活用した組合施行土地区画整理事業による新たな市街地の整備を行い、地域拠点としての機能を誘導します。組合発起人会を支援し、土地区画整理事業の事業化に向けた計画策定を行います。



**アウトレット事業と同調して
土地区画整理事業の計画推進を
支援していきます。**



- 【事業面積】**
- ・市街化編入予定区域 : 約 37ha
 - ・広域交流拠点区域：アウトレット : 約 20ha
 - ・地域拠点区域：組合区画整理予定 : 約 17ha
既市街化区域含む

岡崎駅東地区整備業務(予算額 968,587千円)

都市基盤部市街地整備課
技術係(23 - 6286)

(令和3年度3月補正に前倒した予算額 32,912千円)(合計予算額 1,001,499千円)

財源内訳	国庫支出金 180,510千円、市債 443,000千円、一般財源 345,077千円
支出内訳	8款7項3目 岡崎駅東地区都市改造事業費 / 架線保全手数料 550千円、換地委託料 75,447千円、区画整理測量委託料 11,000千円、工事実施設計等委託料 32,912千円、道路築造工事委託料 327,234千円、施工監理委託料 3,300千円、区画整理事業設計委託料 12,991千円、設計単価調査委託料 4,367千円、土地賃借料 3,913千円、道路整備工事請負費 38,544千円、道路等維持工事請負費 11,000千円、道路築造工事請負費 438,540千円、電柱移設補償金 8,789千円

岡崎駅東地区を岡崎市南部の拠点として、都市基盤・商業環境の整備、交通体系の確立、居住環境の改善を図り、个性的で魅力あふれる街づくりを進めています。令和4年度は、(都)柱町線及びその周辺道路の整備等を行います。



景観環境まちづくり推進業務 (予算額 154,155千円)		都市政策部まちづくりデザイン課 景観まちづくり係(23 - 6263)
財源内訳	国庫支出金 43,010千円、財産収入 6千円、諸収入 777千円、市債 33,000千円、一般財源 77,362千円	
支出内訳	8款51項2目 都市景観環境費 / 委員報酬 480千円、事業協力者報償金 305千円、費用弁償 39千円、食糧費 10千円、広告料 402千円、販売手数料 25千円、看板製作委託料 5,101千円、景観形成重点地区指定促進委託料 7,732千円、サイン・案内板整備設計委託料 3,000千円、電線共同溝設備工事委託料 12,533千円、設計単価調査委託料 1,430千円、サイン・案内板整備工事請負費 29,395千円、無電柱化整備工事請負費 50,652千円、景観まちづくり推進費補助金 300千円、景観形成補助金 3,000千円、まちなみ修景補助金 3,300千円、電柱等移転補償金 8,183千円、水道管移設補償金 28,268千円	

良好な景観形成による地域の活性化、生活環境の向上及び観光の振興に向けて、本市固有の良好な景観の保全や整備を図るためのまちづくりを景観計画に基づき総合的かつ一体的に推進します。

無電柱化整備事業

八帖地区景観形成重点地区の良好な景観形成を図るため、電線類の地中化を推進します。



八帖地区景観形成重点地区区域図



現在の市道中岡崎8号線



無電柱化整備イメージ

■ 整備路線

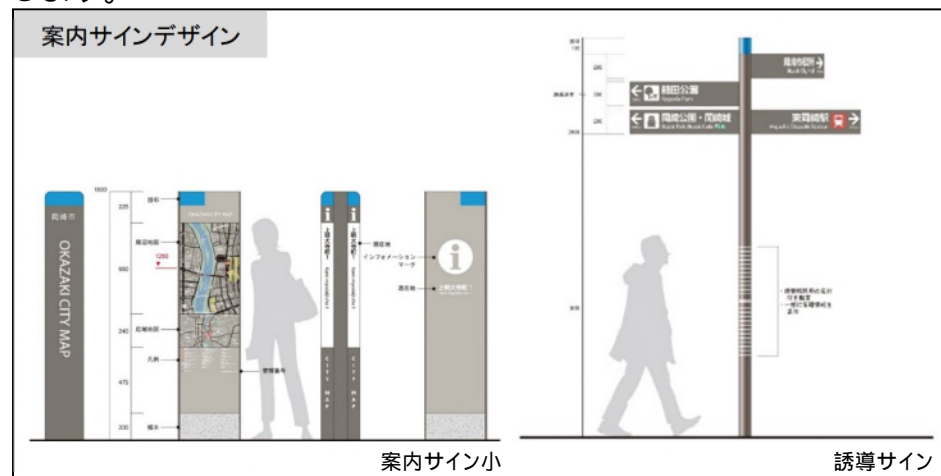
- 市道八帖大通2号線 延長約 160m
- 市道中岡崎8号線 延長約 200m

■ スケジュール(予定)

- 令和4年度 一期工事
- 令和5年度 二期工事
- 令和6年度 入線、電柱抜柱
- 令和7年度 道路美装化

歩行者系案内サイン整備事業

QURUWAエリアの回遊性向上に寄与する案内サインを整備します。



スケジュール(予定)

- 令和4年度 案内サイン小 4基、誘導サイン 2基 設置
- 令和5年度～ 案内サイン小 17基、誘導サイン 11基、案内サイン大 1基 設置予定

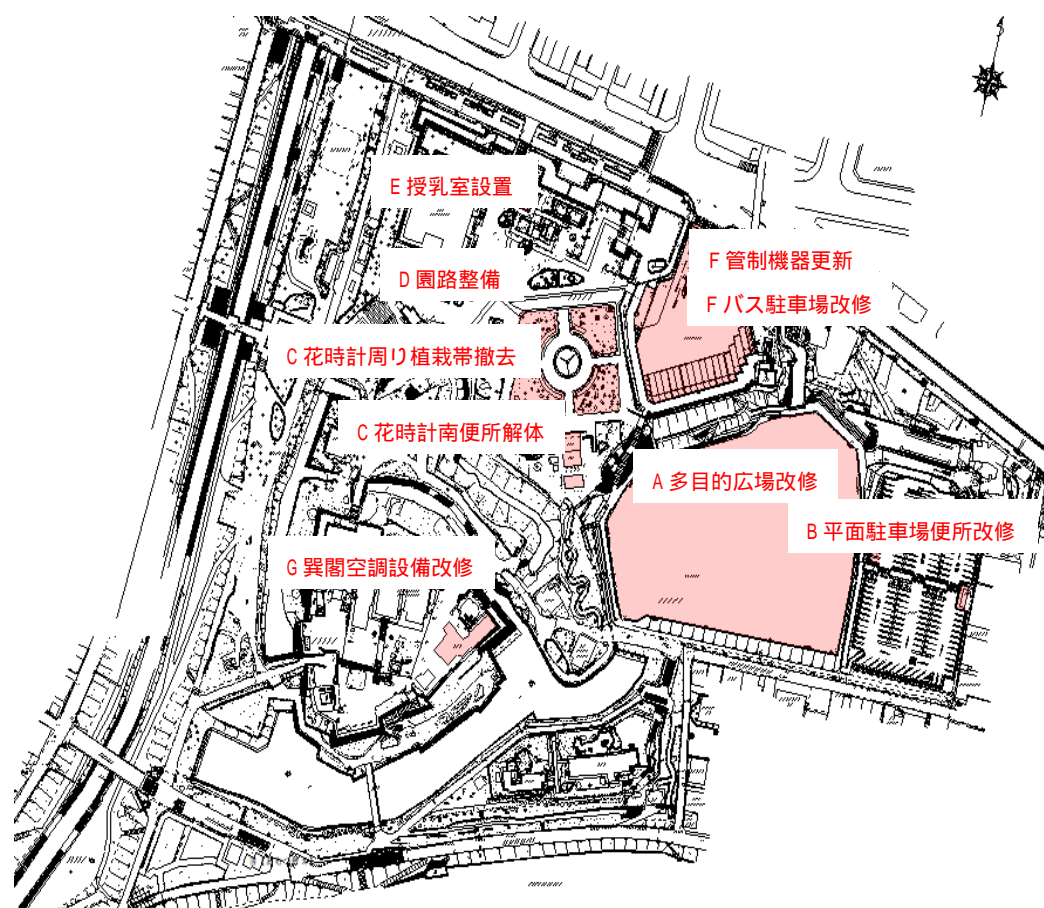
岡崎(城址)公園整備業務(予算額 275,020千円)

都市基盤部公園緑地課
管理係(23-6257)

財源内訳 国庫支出金 9,900千円、繰入金 100,000千円、市債 139,000千円、一般財源 26,120千円

支出内訳 8款6項2目 公園費 / 仮設便所賃借料 251千円、公園整備工事請負費 274,769千円

大河ドラマ「どうする家康」の放送に向け、岡崎(城址)公園の整備工事を行い、観光客受け入れに伴うおもてなし体制強化を図ります。



A 多目的広場改修工事 (126,500千円)

土系舗装 A=10,060㎡

B 平面駐車場便所改修工事 (26,840千円)

ユニバーサルデザイン化(多目的トイレ等)

C 二の丸広場周辺整備工事 (38,995千円)

- ・花時計周り植栽帯撤去
- ・花時計南便所解体

D 園路整備工事 (12,650千円)

園路舗装 A=930㎡ W=1.8~3.6m

E 授乳室設置工事 (1,848千円)

休憩室の一部改装 A=6㎡

F バス駐車場改修工事 (63,536千円)

- ・舗装打ち換え A=2,660㎡
- ・管制機器更新 1式

G 異閣空調設備改修工事 (4,400千円)

空調設備 1式

バス路線対策業務 (予算額 483,638千円)		総合政策部地域創生課 公共交通係 (23 - 6486)
財源内訳	県支出金 5,381千円、一般財源 478,257千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / バス路線運行委託料 35,128千円、バス運行対策費補助金 428,310千円、移動手段確保対策費負担金 20,200千円	

地域生活交通の確保維持のため、国・県及び隣接市と協調し不採算バス路線への補助金交付のほか、中山間地域でのコミュニティ交通等の運行委託によりバス路線の確保・維持を図ります。また、高齢者や免許自主返納した方への移動手段に対する支援、外出促進による健康の維持などを目的に、移動手段の確保に向けた取り組みを行います。

バス路線運行委託料・バス運行対策費補助金

運行委託路線 5 路線
 運行費補助路線 28 路線
 矢作地区コミュニティ交通

【令和4年度バス路線概略図】



移動手段確保対策費負担金

高齢者パス負担金

拡充

バス事業者が65歳以上の方に発行している高齢者パス購入の一部を負担することで、高齢者や免許自主返納した方への移動手段に対する支援、外出促進による健康の維持を図ります。

【高齢者パス販売価格】

令和4年度

券種	シルバー 65 (満65歳 ~69歳)	ゴールド 70 (満70歳 以上)	負担額
1ヶ月券	6,000	5,000	1,000
2ヶ月券	12,000	10,000	2,000
3ヶ月券	18,000	15,000	3,000

(単位：円)

移動手段負担金

地域が主体となり、移動手段に関する協議が行われている六ツ美中部学区において、高齢者をはじめとする、通院・買物などの生活交通としての移動手段の確保、通勤・通学の移動手段の確保を図るため、デマンド型交通の実証運行を実施します。



新規	結婚新生活支援補助業務 (予算額 3,000千円)	都市基盤部住宅計画課 居住支援係(23 - 6880)
財源内訳	県支出金 1,500千円、一般財源 1,500千円	
支出内訳	8款8項1目 住宅総務費 / 結婚新生活支援補助金 3,000千円	

新婚世帯の新生活を支援します

将来的に子供の出産が期待される若年世帯から、結婚を契機とした新生活の居住地として本市が選ばれるために、若い新婚世帯に対し、結婚に伴う経済的不安として最も多く挙げられる「住居費」等について経済的支援を行います。

岡崎市結婚新生活支援補助金

令和4年6月申請受付開始予定

【対象世帯】

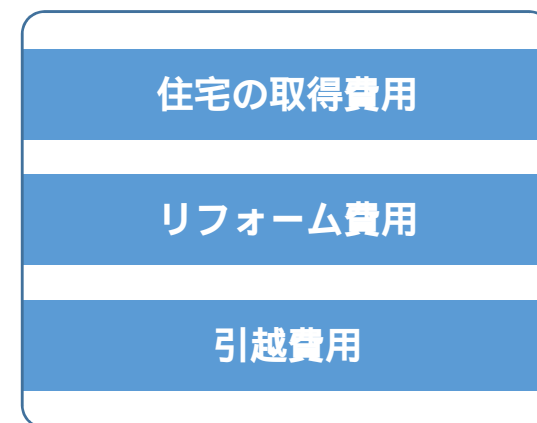
- ・ 新規に婚姻した夫婦であること。
令和4年1月1日から令和5年2月28日までの間に婚姻届を提出し受理された夫婦
- ・ 夫婦ともに申請時点で新居となる住宅の住所に住民票があること。
- ・ 当該住所が岡崎市立地適正化計画に定める居住誘導区域内にあること。
- ・ 夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下であること。
- ・ 世帯所得が400万円未満(世帯年収約540万円に相当)であること。
- ・ 申請日より2年以上継続して市内に住み続ける意思があること。

【対象経費】

- ・ 婚姻に伴う住宅取得費用、リフォーム費用、引越費用
いずれも令和4年4月1日～令和5年2月28日の間に支払った費用

【補助上限額】

- ・ 30万円(1世帯当たり)



1世帯当たり上限 30万円を補助

平地荘整備業務 (予算額 336,830千円)		都市基盤部住宅計画課 市営住宅整備係 (23-6879)
財源内訳	使用料及び手数料 73,099千円、国庫支出金 109,092千円、市債 129,000千円、一般財源 25,639千円	
支出内訳	8款8項3目 住宅建設費 / 市営住宅新築工事請負費 220,100千円、市営住宅解体工事請負費 96,878千円、建物等移転補償金 19,654千円、 テレビ受信障害補償金 198千円	

【事業概要】

平地荘(昭和46~47年建設)は、老朽化しているため建替えを行い、住宅に困窮する低額所得者へ低廉な家賃で良好な居住環境の提供を行います。

【整備スケジュール】

平成28年度 基本設計業務

平成29年度 実施設計業務

平成30~令和元年度

第1期建設工事

令和元年度 実施設計業務

令和2年度~令和3年度

第2期建設工事

令和4年度~令和5年度

第3期建設工事

令和5年度完成予定

平地荘完成予想図(イメージ)



* 実施設計 : 住棟2棟設計 実施設計 : 住棟3棟・集会所等、外構設計
 第1期建設 : 住棟2棟建設 第2期建設 : 住棟3棟建設
 第3期建設 : 集会所等建設、外構工事

拡充	空家等対策業務 (予算額 18,213千円) 空家等対策推進業務始め4業務合算	都市政策部住環境整備課 空家対策係(23 - 6629)
財源内訳	国庫支出金 5,191千円、県支出金 1,875千円、一般財源 11,147千円	
支出内訳	8款8項1目 住宅総務費 / 空家等対策推進業務: 委員報酬 240千円、講師等報償金 107千円、費用弁償 21千円、特別旅費 70千円、消耗品費 32千円、食糧費 5千円、印刷製本費 147千円、建物修繕料 440千円、財産管理人選任手数料 1,500千円、官報公告料 13千円、空家等対策計画策定支援委託料 2,882千円、土地家屋所有者調査委託料 420千円、空家等管理台帳システム改修委託料 2,046千円、職員研修負担金 60千円、危険空き家除却事業補助業務: 危険空き家除却事業費補助金 7,500千円、 空き家流通活用促進業務: 事業協力者報償金 80千円、印刷製本費 20千円、土地家屋所有者調査委託料 630千円、 地域貢献型空き家改修事業費補助金 1,000千円、 振興山村地域空き家改修事業補助業務: 振興山村地域空き家改修事業費補助金 1,000千円	

新規 【地域貢献型空き家改修費補助金】

1 事業目的

令和4年度より始まる空き家の所有者と地域貢献団体のマッチング事業を後押しし、地域貢献活動を行うために必要な空き家の改修費を補助することにより、地域の資源となり得る空き家の利活用を図る。

2 予算額

1,000千円(500千円/戸×2戸)

3 補助金額

- ・補助率: 1/2 (上限額: 500千円/戸)
- ・補助対象経費: 地域貢献活動を行うために必要な空き家の改修に要する費用

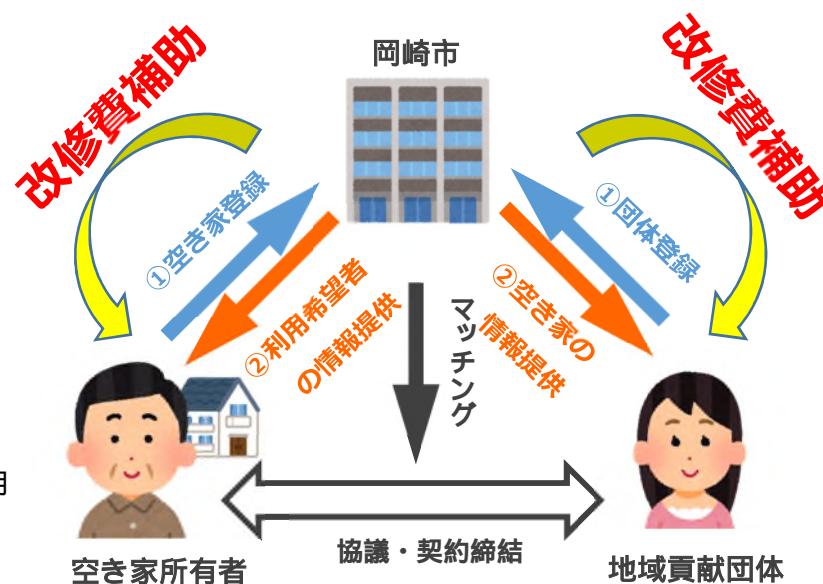
4 補助対象者

空き家の所有者又は地域貢献活動を行う賃借人

5 補助対象事業

地域交流の活性化、地域コミュニティの再生、地域街づくりの推進を図るために実施する事業(5年以上継続して事業を行うものに限る)

例) 子ども食堂、子育てママの交流、高齢者の健康サポート、コミュニティカフェ



道路整備業務(予算額 1,163,885千円)

土木建設部道路維持課
総務係(23-6223)

(令和3年度3月補正に前倒した予算額 255,000千円)(合計予算額 1,418,885千円)

財源内訳	国庫支出金 106,320千円、諸収入 74,138千円、市債 191,000千円、一般財源 792,427千円
支出内訳	8款3項2目 道路維持費 / 架線保全手数料 638千円、電線共同溝設備工事委託料 32,000千円、設計単価調査委託料 1,430千円、道路整備工事請負費 1,117,892千円、電柱移設補償金 2,125千円、水道管移設補償金 2,500千円、ガスパ管移設補償金 7,300千円

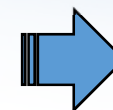
岡崎市が管理する約2,137kmの市道について、老朽化等に伴う整備必要路線の整備工事を行い、安全・安心な通行及び利便性を図ります。

老朽化した道路の整備

各町内会からの要望等を基に、側溝及び舗装等の調査を行い、優先順位を精査した上で、順次整備を図っています。



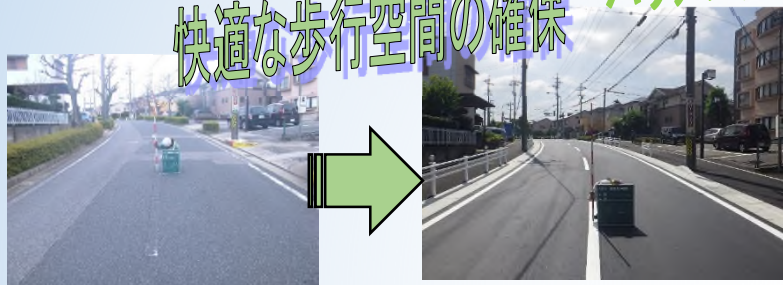
生活環境・利便性の向上



歩道のバリアフリー化

地域の生活を支える重要な道路の歩道を整備し、歩行者の安全な通行と利便性を図ります。

快適な歩行空間の確保 バリアフリー化



緊急輸送道路の無電柱化推進

災害時における岡崎中央総合公園や岡崎市民病院への通行の確保を図るため、市指定の緊急輸送道路において無電柱化の推進を図ります。

防災対策!



道路通行の確保